

指定管理者総合評価シート

(評価対象期間 平成28年4月1日～ 令和2年3月31日)

1 基本情報

施設名称	千葉市花見川区幕張コミュニティセンター
条例上の設置目的	千葉市コミュニティセンター設置管理条例 (設置) 第1条 本市は、市民のコミュニティ活動のための施設として、次のとおりコミュニティセンターを設置する。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	コミュニティ活動を促進し、市民の連帯感を醸成することで、市民主体の住みよいまちづくりを推進すること。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	・コミュニティ活動の場を低廉な料金で安定的に供給すること。 ・地域の特性を踏まえ、コミュニティ活動の契機となる事業を企画・実施すること。 ・コミュニティ活動を行う上で必要とされる情報発信の場となること。
制度導入により見込まれる効果	本施設では、指定管理者制度導入により、市民サービスの向上を図り、さらに多くの市民に利用していただくという効果を見込んでいる。 したがって、市としては、指定管理者が民間事業者としてのノウハウを活用した質の高いサービスを提供するとともに、魅力的な事業の企画や効果的な広報活動を実施することなどにより、施設の利用が促進されることを期待している。
指定管理者名	株式会社京葉美装
構成団体 (共同事業者の場合)	
指定期間	平成28年(2016年)4月1日～令和3年(2021年)3月31日(5年)
所管課	花見川区役所地域振興課

2 成果指標等の推移

(1) 施設稼働率(諸室) (成果指標1)

	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	平均
実績値	43.2%	49.0%	47.3%	47.2%	46.7%
数値目標※	37.6% (46.3%)	39.8% (46.3%)	42.0% (46.3%)	44.2% (46.3%)	40.9% (46.3%)
達成率	114.9% (93.3%)	123.1% (105.8%)	112.6% (102.2%)	106.8% (101.9%)	114.4% (100.8%)

(2) 施設利用者数(体育館) (成果指標2)

	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	平均
実績値	37,311人	39,001人	36,815人	36,574人	37,425人
数値目標※	33,600人 (37,000人)	34,450人 (37,000人)	35,300人 (37,000人)	36,150人 (37,000人)	34,875人 (37,000人)
達成率	111.0% (100.8%)	113.2% (105.4%)	104.3% (99.5%)	101.2% (98.8%)	107.4% (101.1%)

(3) 成果指標以外の利用状況を示す指標

指標	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	平均
施設利用者数(諸室)	67,865人	73,837人	76,805人	74,402人	73,227人

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

3 収支状況の推移

(単位：千円)

			H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	合計	
必須業務	収入	指定管理料	実績	43,354	45,801	41,496	40,022	170,673
			計画	43,354	45,801	41,496	39,675	170,326
			提案	43,354	42,860	42,549	42,241	171,004
		利用料金	実績	10,454	10,851	10,346	10,150	41,801
			計画	9,297	9,666	9,983	10,329	39,275
		その他	実績	5	0	0	50	55
	計画		0	0	0	0	0	
	合計	実績	53,813	56,652	51,842	50,222	212,529	
		計画	52,651	55,467	51,479	50,004	209,601	
	支出	実績	50,389	56,713	48,269	50,172	205,543	
計画		52,651	55,467	51,479	50,004	209,601		
収支		実績	3,424	△ 61	3,573	50	6,986	
自主事業	収入	実績	450	819	885	776	2,930	
		計画	1,065	809	909	1,095	3,878	
	支出	実績	492	1,348	1,125	952	3,917	
		計画	1,037	841	1,002	1,254	4,134	
	収支		実績	△ 42	△ 529	△ 240	△ 176	△ 987
総収入		実績	54,263	57,471	52,727	50,998	215,459	
総支出		実績	50,881	58,061	49,394	51,124	209,460	
総収支		実績	3,382	△ 590	3,333	△ 126	5,999	
利益の還元額		実績	なし	なし	なし	なし		
利益還元の内容								

4 管理運営状況の総合評価

評価項目	評価	評価の具体的内容・理由
1 成果指標の目標達成	B	・諸室稼働率、体育館利用者数共に、概ね市設定の目標数値の90%台～100%台の間で推移。R元年度は台風や新型コロナウイルス等の想定外の事態が発生したことでのマイナス要因も考慮して評価した。
2 市の施設管理経費縮減への寄与	C	・市の指定管理料支出は、太陽光パネルの設置費用を前倒しで支出したH29年度に実績額が提案額を大幅に上回ったが、評価期間通算では実績額が提案額を下回った(△331千円、△0.2%)。
3 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	・事業計画どおり、太陽光パネルの設置及び施設内の全ての照明をLED化。光熱水費及びCO2排出の削減を実現した。 ・R元年の台風19号接近に備え避難所を開設。避難所としての役割も果たした。
4 施設管理能力		
(1) 人的組織体制の充実	C	・事業計画どおり、毎年多様な研修を開催し、従業員の能力向上を図っている。 ・接客態度に関する利用者からの苦情にも即座に対応し、その後接遇研修を全職員が受講する等組織的な対応を実施している。
(2) 施設の維持管理業務	C	・日常清掃に注力。所長・副所長の巡回確認の他、本社職員が週1回勤務し、清掃状況を確認。 ・H28に防犯カメラを設置し、犯罪の未然防止に寄与。 ・恒常的課題の駐車場不足に対しては、近隣小学校・企業の協力を得るとともに、職員が出入庫の誘導を行い、利便性の確保に努めている。
5 施設の効用の発揮		
(1) 幅広い施設利用の確保	C	・事業計画どおり、地元マスコミの協力による広報活動を展開。H30よりJ:COMデイリーニュース枠でのコミュニティセンター通信を開始。 ・Facebook、TwitterなどSNSを活用した広報も実施しているが、利用は低調。 ・広報誌は提案を上回る回数を発刊。
(2) 利用者サービスの充実	B	・幕張文庫、血圧計は、提案を上回る箇所に設置。 ・ごみの分別方法が誤解されがちなものの展示やごみの出し方ガイドブック外国版を配架。リサイクルに関する啓発を実施。 ・エアコン、空気清浄機、スポットクーラー等、利用者のニーズに対応した備品の購入を毎年実施。
(3) 施設における事業の実施	C	・受託事業は、概ね事業計画どおりの実績・成果が認められた。 ・自主事業は「まちおこしプロレス」や「難関大学を目指すわけ！」等、提案にない地域と連携した事業を開催した。「健康麻雀」はサークル化に発展した。 ・提案書記載のNPOと連携した事業が低調であった。
6 その他 (市内業者の育成、市内雇用の配慮、障害者雇用の確保、施設職員の雇用の安定化への配慮)	C	・修繕、備品購入等は市内業者を優先している。 ・退職に伴い障害者雇用のない期間があったが、市特別支援学校との連携を継続し、その後障害者雇用に再開。 ・前指定管理者からの継続雇用も多く、雇用は安定。

総合評価	B
------	---

【評価の内容】

- A：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を上回る、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
 D：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に満たない管理運営が行われていた。
 E：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に、大きく満たない管理運営が行われていた。

5 総合評価を踏まえた検討

(1) 指定管理者制度導入効果の検証

	当初の見込みを上回る効果が達成できた。
○	当初見込んでいた効果が概ね達成できた。
	当初見込んでいた効果は達成できなかった。

(上記判断の理由や具体的内容・達成できなかった場合の原因)

<ul style="list-style-type: none"> ・稼働率は、H26年度の43.3%と比較して3%増の46.3%を最終年度の数値目標として設定したが、H28を除き達成している。 ・体育館の利用者数は、H26年度を基準に毎年2.0%の伸び率で算定した、37,000人を最終年度の数値目標として設定したが、98%以上の達成率である。 ・自主事業収入実績は、新型コロナウイルスの影響があったR元年度を除き、毎年増収している。 ・提案どおり太陽光パネルを設置し、施設の光熱水費及びCO2削減に寄与。太陽光パネルはH30.3に引き渡しを受けた。 ・総収支が黒字化した年度もあったが、利益の還元を受けられるほどの剰余金はなかった。
--

(2) 指定管理者制度運用における課題・問題点

特になし

(3) 指定管理者制度継続の検討

○	指定管理者制度を継続する。
	施設管理手法の見直しを検討する。
	既に施設管理手法の見直しを決定している。

(4) 市民局指定管理者選定評価委員会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営状況に問題はないことから、指定管理者制度の継続が望ましいと判断される。 ・利益還元ができるよう工夫を図られたい。
--